



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2019年9月29日号



11月1日（金）から11月7日（木）までの期間に、
「博物館文化ウィーク」としてさまざまな行事を開催します。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/27793>

◆学芸員自然と歴史のたより◆

学芸員自然と歴史のたより「たね屋さんからみた、三浦半島の農業」

三浦半島の農家さんはたいへん勉強家で、しかも熱心な働き者です。

本館では、そういった三浦半島の農家さんや農業を、文系・理系の枠を超えて紹介してゆきたいと考えています。

農業を研究対象としてみたとき、生物種としての農作物（生物学）、品種改良と栽培方法（農学／人類学）、地域の環境と農地（気象学／地質学／土壌学）、遺跡から発掘される農業遺構・農機具・農作物遺体（考古学）、地域の農業と個々の農家の歴史（歴史学／古文書学）、それぞれの時代の農家同士の結びつきと祭祀（人類学／社会学）などといった、文系と理系の枠をとりはらった複合的な視点が必要となってきます。

日本のおおくの農家さんは、現在、個人で種子を継代保存するのではなく、種苗会社（たね屋さん）から種苗を購入して農作物を育てています。

したがってたね屋さんは、農作物の消費者さんのニーズを念頭に置き、農家さんと相談しながら農作物と一緒に選んでゆくコンサルタントともいえる、重要な仕事です。

そこで三浦半島の農業を知るために、今回、たね屋さんを核にネットワークとしてご紹介することを思いつきました。

1967年、国の方針にしたがって、肥料としてのヒトのし尿が使用禁止となりました。

三浦半島では、くわえて、し尿肥料の元になる牛馬数も減少したため、このあたりから施肥がおおきく変化しました。

こういった流れの中で、それまでの農業形態も変化し、1970 年あたりから、春キャベツ—スイカーダイコンという野菜 3 毛作が確立しました。

この 3 毛作が、現在の三浦半島農業の主流になっています。

三浦といえば、三浦ダイコンが有名です。

三浦ダイコンは、三浦半島を代表する農作物とっていいでしょう。

三浦半島のダイコンは、三浦市高円坊のものが、すでに江戸末期には知られていました。

当時のダイコンは、カブに似た丸い形のもので「鼠大根」と呼ばれていたようです。

明治 38 年（1905 年）、鈴木寿一氏によって練馬ダイコンの種子が導入され、地元のダイコンとの交雑・改良がおこなわれ、「中ぶくら」の、今日の三浦ダイコンの形態の基礎ができました。

さらに、大正 14 年（1925 年）、岸亀蔵氏によって、三浦産のダイコンを「三浦ダイコン」と命名し、ポスターやのぼりで大々的に宣伝しました。

このように受けつがれてきた三浦ダイコンですが、昭和 54 年（1979 年）10 月 19 日、台風 20 号で幼苗が打撃を受け、壊滅状態になってしまいました。

このとき、急場しのぎとして青首ダイコンが植えなおされ出荷されました。

ところが、青首ダイコンにはいくつかの利点があったため、数年で三浦半島のダイコンの主流となってしまいました。

三浦ダイコンの作付は、0.5 %にまで落ち込んでいます。

現在、三浦半島の農業は変革期を迎えており、たいへん興味深い変化が起こっています。農家さんが創る、新しい三浦の名産品にぜひご注目いただきたいと考えています。

（植物学担当：等々力）

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/27789>

◆展示情報◆

特別展示「おいでよ！まぼりの森—馬堀自然教育園の 60 年とこれから—」

2019 年 11 月 4 日（月）まで

開園 60 周年を迎える馬堀自然教育園の魅力をたっぷりお伝えします！

【みどころ】

巨木模型・・・・・・シラカシとムクノキを再現した模型を展示室入口に設置します。

生態展示・・・・・・・・馬堀の生き物がやってくる！ イモリ、ヤマトヌマエビ、カブトムシなどを水槽で展示します。

生態系模型・・・・・・・・どんぐりをころがしてみよう！ 動物に食べられたり発芽したり、遊びながら学べる模型が登場します。

そのほか、馬堀自然教育園の自然と歴史を紹介する資料を多数展示します。

【展示解説】

10月20日（日）

14：00～15：00

本館特別展示室

参加自由

【関連行事】

馬堀自然教育園 自然と歴史のツアー

11月16日（土）

10：00～12：00

馬堀自然教育園

事前申込制

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/27307>

トピックス展示「たね屋さんからみた、三浦半島の農業」

2019年10月20日（日）まで

三浦半島の農業は、明治以降、さまざまな試行を繰り返しながら発展してきました。

大都市を近郊消費地に持つこの地域の種苗業者さんの目線から、三浦半島の現在の農業の特色をご紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/27776>

トピックス展示「戦前の写真や冊子」

2019年12月8日（日）まで

横須賀を記録した戦前の写真や冊子を抜粋して展示紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/27738>

◆イベント情報（文化ウィーク行事）◆

小・中学生対象「こどもクイズラリー」

2019年10月19日（土）～2019年11月4日（月）

参加自由。

クイズに答えながら博物館を楽しくめぐるイベントです。

クイズの回答者は博物館オリジナルのプレゼントがもらえます。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27011>

博物館特別公開「国指定重要有形民俗文化財 三浦半島の漁撈用具」

2019年11月1日（金）～2019年11月4日（月）

館内には収まりきらないほどの大形の木造船、竹で編んだ巨大な生け簀、タコ・イカ・マグロなど様々な種類の釣り針など、2603点を期間限定で公開します。

11月4日（月・休）13:30～14:30に解説を行います。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/26989>

野外学習「ハレの日めぐり」

2019年11月2日（土）

事前申込制。

各地に伝わるハレの日を巡ります。

今回は、富岡八幡宮の湯立神楽「卯陪従（うべえじゅう）」を見学します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27031>

研究発表会「よこすかの歴史最前線」

2019年11月3日（日）

市民による最新の研究成果の発表の場です。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/26992>

自然館ミュージアムトーク（11月）

2019年11月3日（日）

申込不要。

自然館の常設展示、トピックス展示について担当学芸員が来館者の皆さんとお話ししながら、わかりやすく解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27005>

博物館特別公開「ナイトミュージアム」

2019年11月2日（土）

事前申込制。

ふだんは見られない夜の博物館内を、夜間ならではの演出で学芸員がご案内します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/26991>

◆イベント情報

自然観察会「しだ・こけ・きのこのテラリウム」

2019年10月26日（土）

事前申込制。

馬堀自然教育園のシダやコケ、きのこを観察し、名前や特徴を学びながら自宅に飾れるテラリウム（ガラス容器などで生物を育てること）を作りましょう。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27032>

博物館教室「三浦半島の自然誌」

2019年11月6日（水）

事前申込制。

三浦半島の身近な自然を、地球科学、昆虫、植物、魚類についての講義をとおして学習します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27018>

博物館教室「三浦半島の都市建築史」

2019年11月15日（金）ほか全4回

事前申込制。

幕末から昭和における横須賀・三浦半島の近代化と都市化の過程について、室内での解説と歴史的建造物の見学を通して学びます。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27019>

天神島ガイドツアー（10月）

2019年10月27日（日）

申込不要。

毎月その時々天神島臨海自然教育園の見どころを、現地スタッフが紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27059>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>